

学校通信

第5号

教育目標 『考える子 やさしい子 たくましい子』



平成29年7月20日

足利市立東山小学校

児童数 270名

発行者 新井 功

長かった1学期が終わりました。振り返ってみますと4月に41名の1年生を迎えて、274名でスタートした1学期でしたが、5月に実施して3年目の第18回運動会も素晴らしい成果を残して無事終えることができました。保護者の皆様や地域の方々にお礼申し上げます。

さて、いよいよ、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。この休み中、子どもたちには多くのふれあい体験をしてほしいと思っています。

1つ目は、『人とのふれあい』です。家族・友達・親戚・近所の方々との日常的なふれあいに加え、地域行事やサークル活動への参加や、旅行先での出会いや交流など、たくさんの人とのふれあいを楽しんでください。

2つ目は、『物とのふれあい』です。鑿阿寺本堂が平成25年8月7日、国宝に指定されました。近隣には文化施設がたくさんあります。この機会に鑿阿寺、史跡足利学校、市立美術館など文化施設へ行ってみましょう。また、市立足利図書館、生涯学習センター、市営プールなど利用できる施設がたくさんあります。新しい体験を通して心を豊かにしましょう。

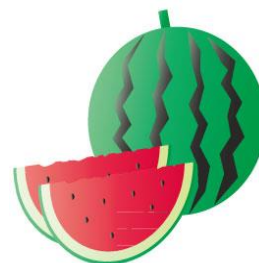
3つ目は、『本とのふれあい』です。夏休みのような長期休みは絶好の読書期間です。日頃読むことができないような長編や自分が興味をもった分野の読書や調べ学習など、本とのふれあいから様々な見方、考え方を身につけましょう。

そして、最も大切なふれあいは、『家族とのふれあい』です。次のような1節があります。

「どうかみなさん、子どもの手をしっかり握ってください。子どもは成長して大人となって皆さんから離れるときがきます。けれども、彼らの心の中に、幼稚園に通っていたとき、夏休みの間、いっしょに山道、海辺を散歩したとき、買い物へ行ったとき……

お母さんの手のぬくもり、お父さんの手のぬくもりが、ずうっとしみこんでいき、それが思い出となるようにさせてください。そのぬくもりは、きっと子どもを守り、正しい道をふみはずすことのないようにしてくれるでしょう。」<手のぬくもり (S・デランジェラ) より>

子どもたち、ご家族にとって、有意義な夏休みになることを願っています。



楽しい夏休み 家庭へのお願い 十か条 (参考)

学校では、長期休業中の事前指導を行っていきます。ご家庭でも、安全で充実した夏休みとなるようにお子様と話し合っただければと思います。

家庭へのお願い 十か条

- 1 会話を増やし、家族の絆を深めましょう。
- 2 精一杯しかり、力一杯ほめましょう。
- 3 地域の活動に親子で参加しましょう。
- 4 子どものために思うなら、我慢を覚えさせましょう。
- 5 スマホ・携帯、我が家のルールをつくりましょう。
- 6 お手伝いで、家族の一員としての責任感をつくりましょう。
- 7 「早寝・早起き・朝ごはん」生活のリズムをつくりましょう。
- 8 動植物や自然とふれあう体験をさせましょう。
- 9 家族そろって読書の時間をつくりましょう。
- 10 親が率先して祖父母を大切にしましょう。親の後ろ姿を見て子どもは学びます。